

# 母校だより



飯能高校野球部  
監督 教諭  
羽生 拓

飯能高校は90年を超える歴史があり、野球部も60年を超える伝統があります。過去には西関東大会に出場し、甲子園まであと一歩というところまで迫った実績がありますし、プロ野球で二千本安打を達成し、名球会会員である松原誠様をはじめ、複数のプロ野球選手を輩出している名門校です。しかし近年では、部員不足が深刻で、平成28年4月現在の部員数は15名(女子マネージャー5名含む)で、日々細々と活動しているという状況です。そのような現状の中、平成28年度春季大会において、西部地区予選を勝ち上がり、10年ぶりに県大会に出場することが決まりました。多くの諸先輩方にも大変喜んで頂きました。こちらとしても嬉しく思うと同時に、これからの活動をより一層精進し、目標

に向かって邁進していく所存です。

私が飯能高校に着任させて頂いてから、早いもので今年で六年目を迎えます。飯能高校にあと何年お世話になるかわかりませんが、一年一年を全力で取り組んでいきたいと思っております。



## 箏曲部 顧問 下條 充枝

7年前満開の桜に出迎えられ、飯能高校に赴任して来ました。伝統ある箏曲部を担当することとなり、現在に至ります。当時箏曲部は、飯能高校の卒業生でもある篠原孜子先生が指導なさっていました。1970年から2013年に引退されるまでの43年間、厳しい中にも愛情のこもった指導をされ、全国大会に出場したこともありました。最近では2012年に邦楽祭で「螺鈿」を演奏し、銀賞に輝きました。篠原先生の引退後一年間はお弟子さんの山崎恵子先生と牧野和江先生のお二人が、その後は飯能高校の卒業生でもある牧野先生がお一人で箏曲部の指導にあたって下さっています。

部の主な活動は、研究会(発表会)や邦楽祭(コンクール)、三曲演奏会(市民文化祭)、榛の木祭での演奏を中心に行っています。飯能第一小学校で5年生にお箏の指導も



ています。また、吹奏楽部・音楽部と合同で定期演奏会を開催し、今年の3月には第4回目を無事に終えることができました。箏曲部からは3年生二人が「陽炎」「飛躍」を演奏し、吹奏楽部との合同演奏では「ハナミズキ」を演奏しました。

箏曲部には、同窓会会員の皆様からも多くのご支援いただいています。卒業生から勤務先の幼稚園での演奏を依頼されたこともありました。発表の場を増やす事が出来たと

ても有り難いことでした。使わなくなった十七絃や十三絃を寄付していただき、お箏を習う環境がさらに充実しています。ところが、箏曲部はここ3年連続で新入部員がなく、今年度4月からは部員がゼロの状態が続き、存亡の危機に立たされています。飯能高校から箏曲部の火を消さないためにも、出来る限りの努力をしていきたいと思えます。

